

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
寝屋川市駅東地区

平成26年4月

大阪府寝屋川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合 や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	文化イベント開催数	回/年	373	450	745	確定 見込み ●	○	あり なし	777	平成25年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地域交流センターの整備により文化イベント開催数は増加し、地区内のにぎわい創出を図ることができた。
指標2	図書館利用者数	人/年	219,207	246,393	249,824	確定 見込み ●	○	あり なし	301,292	平成26年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅前図書館の整備により図書館利用者数は増加し、地区内のにぎわい創出を図ることができた。
指標3						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合 や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	歩行空間の良好な景観や緑化施設・防災施設の維持・管理	地域自治会、小学校、近隣住民との協働事業として(都)寝屋川駅前線の緑化を推進していく。 防災施設については、地元の自主防災組織と地元消防団に対する説明会を行い、施設を使用するための鍵を地元自治会にも保管していただいている。	市民協働による緑化の推進により、(都)寝屋川駅前線の維持・管理がより充実したものとなっている。 防災施設については、地元の自主防災組織と地元消防団に対する説明会を行った結果、地元の防災意識が高まり、また、施設使用の鍵を地元自治会も保管していることから、万一の災害時には自主的に活用できる体制となっている。	今後、延伸される(都)寝屋川駅前線においても、継続的かつ規模の拡大等、引き続き市民協働の緑化施策により良好な景観・緑化施設の維持・管理を充実させていく必要がある。 防災機能の活用には、日頃の訓練と意識づけが必要であり、地域とともに施設の利活用に取り組む必要がある。
	アルカスホール(地域交流センター)における各種イベントを実施したにぎわい創出	アルカスホール自主事業(ギャラリーコンサート、公開ピアノレッスン、寄席、お話しピアノコンサート、ジャズコンサート映画会等)及び利用者主催による各種事業を実施した。	延べ60,205名の入場者実績があり、にぎわい創出を図ることができた。	平日、メインホールの稼働率の上昇を図る必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	(都)寝屋川駅前線の未整備区間の整備による交通利便性の向上	(都)寝屋川駅前線の未整備区間(約350m)については、現在、整備中である。	(都)寝屋川駅前線の未整備区間(約350m)については、現在、整備中である。	歩行者等の交通利便性の向上を図るため、平成26年度の開通に向け、整備を行っている。
	交通アクセス性の強化	アルカスホールと駅前に完成した図書館(キャレル)と併わせ、案内板を設置した。	来街者が円滑な移動ができるように情報案内の周知を行い、利便性の向上を図った。	引き続き、公共施設への円滑な移動ができるように情報案内等の取り組みをする必要がある。
	市民の防災意識の向上	市民の防災意識の向上のため、地元の自主防災組織と地元消防団に対する説明会を行い、施設を使用するための鍵を地元自治会にも保管していただいている。	地元の自主防災組織と地元消防団に対する説明会を行った結果、地元の防災意識が高まり、また、施設使用の鍵を地元自治会も保管していることから、万一の災害時には自主的に活用できる体制となっている。	防災機能の活用には、日頃の訓練と意識づけが必要であり、地域とともに施設の利活用に取り組む必要がある。
	アルカスホールの周知(立地、知名度)	ホールの特徴でもあるスタインウェイピアノ2台を使った全国規模のピアノコンクールを開催し、全国的に応募を呼びかける。また、ミュージカル「寝屋のはちかづき」事業では、市内小学校4年生全員を鑑賞に招待し、将来寝屋川市を担う年齢層にもアルカスホールを知らせる機会となっている。	日本全国からピアノコンクール予選449名、本選120名の出場、及び延べ約1,500名の入場者があった。また、ミュージカル公演では市内全小学4年生約1,800名及び一般640名の来場があった。	引き続き、事業の実施を通して、市内外に向けてアルカスホールの周知を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項